

【町長・教育長】

通告順	1	質問議員	伊藤議員
質問項目	ICT教育の家計負担を軽減する支援を		
質問内容	<p>来年度より高校生の一人一台のパソコン導入が進められます。これは、現在進めているGIGAスクール構想による小・中学校での整備を受け、高校でもICT教育を途切れることなく実現するための取り組みです。</p> <p>道教委では道立高校においてBYOD（個人が所有する端末を学校で利用すること）による学習を進めるべく、現在の中学3年生の保護者にパンフレットを配布し、周知をしています。端末は、一部貸し出しもありますが、私費負担を基本とする予定です。パソコンなどは保護者にとって高額な負担となるが、都道府県によっては設置者が負担をしたり、補助制度を設けています。国が進める構想が、住む地域によって保護者の負担に違いがあることは、義務教育でないとはいえ不公平感を感じます。</p> <p>また、GIGAスクール構想では家庭に安定した通信環境を求めながら通信料は保護者に負担を求めています。休校時の学校運営の経費を家計にゆだねることと感じますので以下を質問致します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 道教委は2022年度の高校一年生が利用する端末の負担を保護者の負担としているが、その考えに変わりはないのか。また、補助制度の考えはないのか。（教育長）</li> <li>2. 町として国や道に負担を求めることが必要と考えます。しかし、国や道の支援がないとすれば、町として端末や通信料の補助制度を行い支援することは出来ないか。（町長）</li> <li>3. 現在、小中学校に対してインターネット環境がない家庭にモバイルルーターの貸し出しを行うことになっているが、通信料は家庭の負担である。就学援助を受けている家庭には、この通信料を就学援助制度に加えることは出来ないか。（教育長）</li> </ol>		

# 道立高校において

## 令和4年(2022年)度入学生から

### BYOD<sup>※1</sup>による

### 1人1台のパソコンを活用した

### 授業が始まります!



※1 BYOD: Bring Your Own Device 個人が所有する端末を学校で利用すること

今日の社会では、高度情報化やグローバル化、少子高齢化等が急速に進んでいます。そうした中、今後ますます重要視されるのが、情報活用能力<sup>※2</sup>やコミュニケーション力であり、その育成を通して子どもたち一人一人が、社会の変化に主体的に対応し、生涯にわたって夢や目標を持ち続け、その実現に取り組むことができるようにすることが、今日及びこれからの教育には求められています。

このため、道立高校では、ICT<sup>※3</sup>を効果的に活用して、生徒一人一人に応じたわかりやすい授業を実施し、情報活用能力やコミュニケーション力の向上につなげていくこととし、これまでの間、校内の高速通信ネットワーク整備を完了するとともに、各教室で使用される大型提示装置の配備を進めてきました。

今後、生徒の1人1台端末についても計画的な導入を図り、各学校でこれからの時代に対応したICT活用教育を本格化させます。

※2 情報活用能力: 情報及び情報手段を主体的に選択し活用していくための基礎的な力のこと

※3 ICT: Information and Communication Technology 情報通信技術

Q: パソコンは誰が用意するのですか?

A: 義務教育である小中学校では、児童生徒全員分のパソコン整備に対し、国が財政支援を行っていますが、高等学校の生徒が使用するパソコン整備に対しては、限られた台数分のみの支援となっているのが現状です。

道立高校では、これまで生徒個人が専有して使用する教科書や電子辞書等の教材に要する経費を私費負担としてきており、今後のICT活用教育で各生徒が専有して学校や家庭で使用していくこととなるパソコンについても私費負担を基本とする予定です。

なお、生徒が使用するパソコンを各家庭でどのように用意いただくかは、学校ごとにお知らせすることとなりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

Q: なぜ、令和4年(2022年)4月からなのですか?

A: 令和4年(2022年)度の1年生から、学年(年次)進行で新たな学習指導要領が実施されます。要領では、情報活用能力を「学習の基盤となる資質・能力」に位置付けており、普段の学習活動から、そうした能力を育成していく必要があるからです。

Q: パソコンを用意することが困難な生徒は、どうすればよいですか?

A: 経済的な事情等により、パソコンを用意することが困難な家庭の生徒には、学校が用意したパソコンを生徒に貸与する予定です。なお、貸与は、生徒が特定のパソコンを専有して学校、家庭等で使用できるよう年単位で行う予定としています。

#### 1人1台パソコン導入スケジュール

R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
保護者等への周知	1年生	1年生 2年生	1年生 2年生 3年生

# 高等学校における学習者用コンピュータの整備について

文部科学省GIGAスクール構想資料より

## ○概要

公立高等学校におけるICT端末の整備状況に関し、令和2年12月に新たな経済対策が閣議決定されたことなどを踏まえ、文部科学省において都道府県の整備目標等に関し、令和3年3月末の見込みを調査

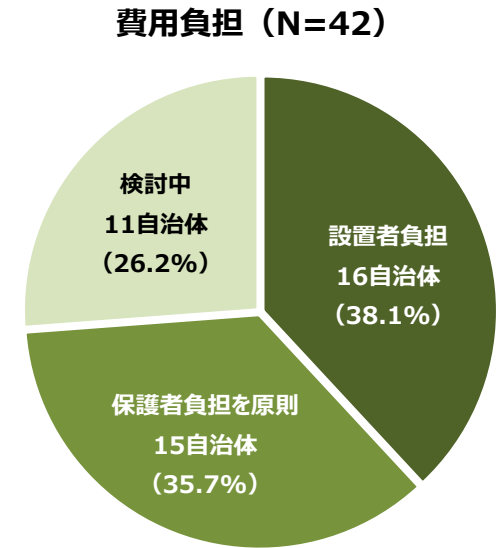
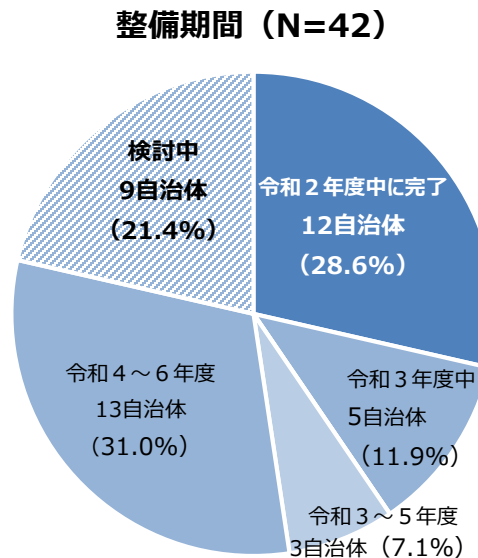
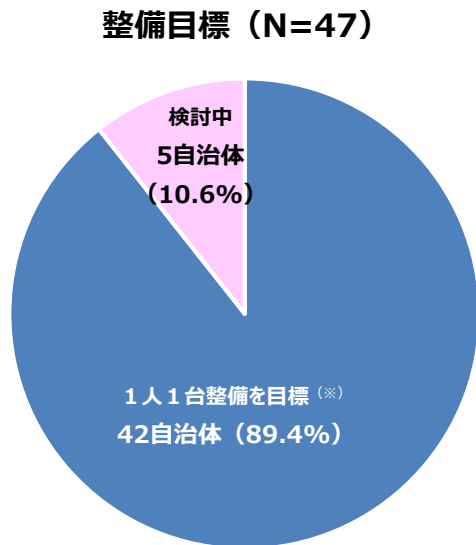
(実施時期：令和3年1～2月)

## ○対象

全都道府県教育委員会

## ○結果

【 1人1台整備を目標とする42自治体 】

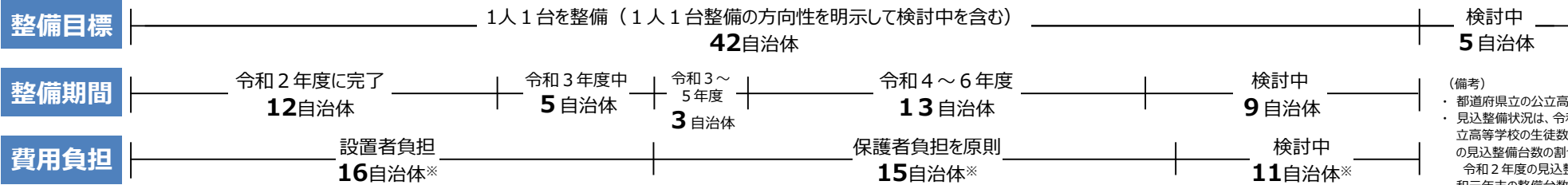
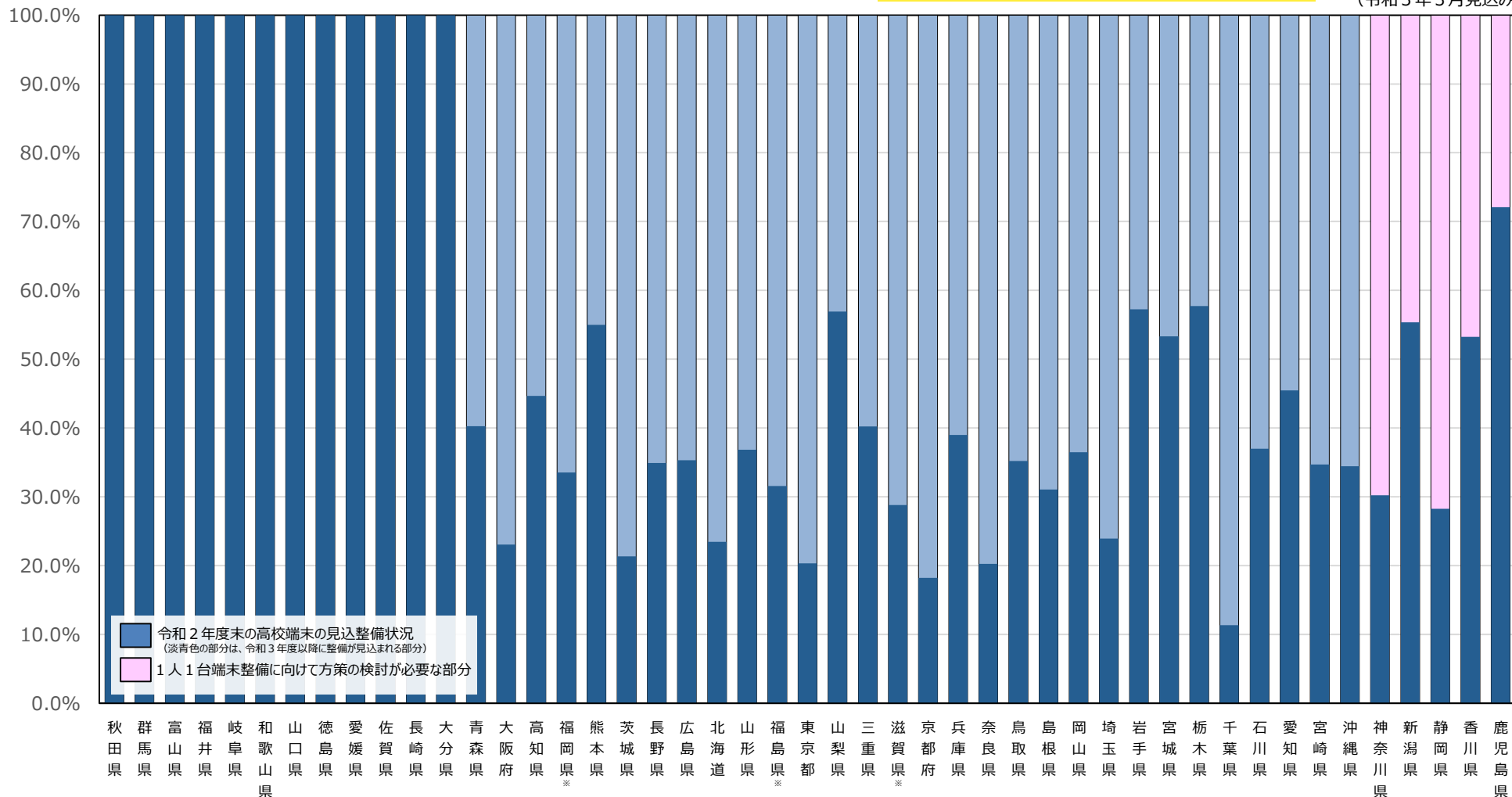


(※) 「1人1台整備の方向性を明らかにして検討中」と回答した都道府県を含む

# 公立高校における端末の整備状況(見込み)について(都道府県別)

文部科学省GIGAスクール構想資料より

(令和3年3月見込み)



(備考)  
 ・ 都道府県立の公立高校のみ  
 ・ 見込整備状況は、令和2年度の公立高等学校の生徒数と令和2年度の見込整備台数の割合  
 令和2年度の見込整備台数(令和元年末の整備台数+令和2年度の新規整備予定台数)

※ 福島県、滋賀県、福岡県は、費用負担については検討中

【町長】

<p>通告順</p>	<p>2</p>	<p>質問 議員</p>	<p>鵜野議員</p>
<p>質問 項目</p>	<p>沼田町産商品のコマーシャル・販路拡大事業は効果的なのか</p>		
<p>質問 内容</p>	<p>沼田町の特産物の雪中米・地場農産物などのPR販売事業が複数取り組まれ、農業者にとっては、所得に繋がる大切な事業です。</p> <p>今年は「首都圏アンテナショップ設置事業」560万円・中山間事業の「農産物販売事業」615万円などの事業が行われています。</p> <p>これらの事業を含め、その成果目標がどこなのか、現在行っている事業内容と効果、目標を聞く。(特に雪中米)</p> <p>また、沼田町商店街では特産品の販売していただいているが買い手が不便を感じていないか。スーパー・マルシェですべて買えるのか、価格はどうか。(雪中米・トマトジュース・ケチャップ・椎茸・レタスなど)</p> <p>沼田町で生産(農産物・加工商品・工業製品など)される商品は町民が安く、手軽に利用できる事業の取り組みができないか。</p>		

北海道の雪に見守られ

新米の風味そのままに。

北海道 沼田町

雪中米

SECCHUMAI

しんしんと

降り積もる雪が

新米の香りとおつやを

守り続けます。



雪中米を購入したい

株式会社 まちづくりぬまた Tel.0164-34-5113  
(北海道沼田町観光協会) 平日(月~金)8:30~17:30、(土・日)8:30~17:00

雪中米をもっと知りたい

北海道 沼田町 農業推進課 Tel.0164-35-2114  
平日(月~金)8:45~17:15



北海道 沼田町 **ふるさと納税**

雪中米やトマトジュース・ケチャップをはじめ地酒雪なごりも  
人気!! 沼田町の魅力を体感してください。

